

佐賀県立佐賀商業高等学校 定時制課程

第7号
虎の門がより



令和7(2025)年11月4日発行

〒840-0804

佐賀市神野東4丁目12番40号

☎0952-30-8571 Fax0952-34-1042

<https://www.education.saga.jp/hp/sagashouyoukougou-p/>

第73回生徒生活体験発表大会 本校生徒が見事入賞！

10月19日(日)、福富ゆうあい館で第73回生徒生活体験発表大会が開催され、県内の定時制・通信制高校の代表生徒が学校生活での体験を7分間で発表しました。当日は約450名が来場し、各校代表14名による熱のこもった発表が行われました。本校からは4年の中溝朱莉さんと川上清菜さんが出場し、それぞれ自らの経験や思いを堂々と語りました。審査の結果、中溝さんが佐賀県教育長賞(第2位)、川上さんが佐賀県定時制通信制高等学校教育振興会長賞(第8位)を受賞しました。日々の努力と成長が認められた結果であり、会場では多くの拍手が送られました。今回の大会を通して、仲間の頑張りを共有し、学び合う貴重な機会となりました。



ここでは、2名の発表の要旨を紹介します。

祝 佐賀県教育長賞

「いただきます！」 中溝朱莉

私は吃音症があり、話すときに言葉が詰まることがありますが、一生懸命に発表をします。私が通う定時制高校の給食はとてもおいしく、学校へ行く楽しみの一つです。しかし給食時間は25分しかなく、移動や手洗いで実際に食べる時間は短く、満足におかわりもできませんでした。人前で意見を言うことが苦手ななかで、3年生のとき、私は「給食時間の延長」を公約に掲げて生徒会長に立候補しました。一生懸命、全校生徒に訴えましたが、会長にはなれませんでした。翌

年、新入生が増えたことで給食時の混雑が深刻化し、生徒会が延長実現に向けて動き始めました。アンケートでは全員が賛成し、試行期間を経て、ついに給食時間の延長が正式に決定しました。私は自分の意見を行動に移し、学校を少し変えることができた喜びを感じました。幼いころから話すことに苦手意識をもっていた私ですが、生徒会活動や学校生活を通して少しずつ自信を得ることができました。今では不安だった過去の自分に、「行動すれば変わる」と伝えたいです。支えてくれた仲間や先生方に感謝し、卒業するまであと数か月、大好きな給食をゆっくりおいしく「いただきます！」

祝 佐賀県定時制通信制高等学校教育振興会長賞 「大切なもの」 川上 清菜

今年の冬、家族が生死をさまようほどの大けがを負い、私のこれまでの人生で最もつらい出来事に直面しました。突然の知らせに頭が真っ白になり、ただ泣くことしかできませんでしたが、先生方が病院まで送ってくださり、励ましの言葉をかけてくれました。手術は無事に終わりました。不安な日々の中、友人たちは何も聞かずに誕生日を祝ってくれ、その温かさに心が救われました。学校では卒業生を送る会の準備が進む中、何もできなかった私に「無理しないでいいよ」と声をかけてくれた友人の優しさに涙がこぼれました。その後、家族は奇跡的に回復し、今では笑い合えるほど元気になりました。私はこの経験を通して、人の支えの大きさと感謝の意味を深く知りました。中学時代に不登校となった私は、教育支援センター「ほうゆう」で先生に励まされ、自信を取り戻し、佐賀商業高校定時制へ進学しました。高校でも多くの人に支えられ、一年皆勤を達成できたことで前向きな気持ちを持てるようになりました。家族の事故を通して、当たり前のことがどれほど尊いかを痛感し、今では日々「ありがとう」を伝えるようにしています。最後に私の家族へ

「私の家族になってくれてありがとう。これからもつらいこと、楽しいこと、いろいろあると思うけれど、そばにいてくれるだけで幸せです。これからもよろしくね。」